

2月10日 災害協力と社会貢献を表明



2月10日、大分県建設業協会国東支部と国東市との間で「災害時における協力協定」が締結されました。市役所で行われた締結式には、同支部の吉田徹哉支部長と黒木和則事務長が出席し、三河市長とともに調印。吉田支部長は、人命救助のため、災害時における土砂などの障害物の撤去に協力することを表明しました。

また、同支部が取り組んでいる社会貢献活動の一環として、大分トリニータの観戦チケット200枚が市に寄付されました。観戦チケットの寄付は今年で5年目で、国東市スポーツ少年団に加盟しているサッカーチームなど、市内のサッカー関係者に贈られます。

2月11日 教育分野での功績をたたえる

2月11日、アストくにさきで「国東市教育委員会表彰」が行われました。芸術やスポーツなどで功績のあった市内小中学生と団体に対して、加藤正和教育長が表彰。受賞者を代表して、安岐中学校3年生の穴見賢太さん(後列左から4人目)が「今後も努力を続けます」と謝辞を述べました。



2月16日 生活習慣を見直して健康づくりに取り組む

2月16日、アストくにさきで、約250名が参加して「東国東地域健康づくり推進大会」が開催されました。運動や食生活改善などに取り組み、模範となる成果を上げた個人・団体への表彰や、健康づくりに関する体験発表がありました。また、音楽療法士の佐藤佑子さんによる講演も行われ、参加者は音楽を活用して心身を健康に保つ方法を学んでいました。



まちの話題+

1月30日 ヨーロッパのまちづくりを参考に

1月30日、アストくにさきで「まちづくり講演会」が開催されました。「未来の年表 人口減少国東で起きること」と題して、作家でジャーナリストの河合雅司さんが講演。人口減少社会で起こる様々な問題を例示しながら、解決策として、欧州の地方に見られるコンパクトなまちづくりを目指す必要性を訴えました。



2月3日 新たな地域おこし協力隊が誕生

2月3日、市の地域おこし協力隊として新たに加わる山家孝文さんの委嘱式が行われました。山家さんは大分市でプログラマーの仕事をしていましたが、以前から興味があった農業を学ぶため、退職して協力隊に応募しました。市の農業公社で農業を学びながら、農業を通じた地域活性化に取り組む予定です。



2月4日 市出身のバリトン歌手と歌って交流

2月4日、武蔵東小学校で、全校児童172名が参加して「ふれあいコンサート」が行われました。安岐町出身のバリトン歌手・木村雄太さんが「荒城の月」や「赤とんぼ」などの声楽を披露。最後に参加者全員で「さんぽ(となりのトトロ)」を合唱して交流を深めました。



2月4日 卓球九州大会での活躍を誓う

2月4日、卓球の国見クラブに所属する中学生8名とクラブ関係者が市役所を訪れ、九州大会への出場を三河市長に報告しました。国見クラブとして全九州卓球選手権大会(福岡県)に出場するほか、国見中学校卓球部に所属する5名については九州中学選抜卓球大会(熊本県)にも出場。生徒たちは三河市長に、大会での活躍を誓いました。

